

患者さんへ ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 悪性胸水貯留症例における局所麻酔下胸腔鏡所見の検討』

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院呼吸器内科では、悪性胸水における胸腔内視鏡所見を検査し、疾患の鑑別に有用なのかを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、今後胸腔内視鏡の肉眼的所見で良悪性や疾患鑑別につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2008年1月～2019年4月までに東邦大学医療センター大橋病院呼吸器内科において、悪性疾患による胸膜炎の診断で検査を受けた患者さん(約46例)を対象として、診療録(カルテ)から抽出した臨床データを解析します。具体的には胸腔内視鏡の肉眼的な形状や血液中と胸水中の腫瘍マーカーの数値を分析します。また良性疾患である結核性胸膜炎と診断された患者さん(約7名)を比較対象としました。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

尚患者さんご自身での判断が困難である場合は、御家族からの御相談もお受けいたします。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院呼吸器内科

職位・氏名 助教 中野千裕

電話 03-3468-1251 内線 7543